

年の初めに防火意識を新たに 弟子屈消防・川湯消防の出初式



はしご乗りの妙技を披露(川湯消防)



颯爽と行進する消防隊の皆さん(弟子屈消防)

釧路管内のトップを切って、弟子屈消防の出初式が1月4日、役場駐車場などで行われました。

消防力の充実・強化と、消防職員の士気高揚を目的に、毎年開催されています。式には、消防職員や来賓、関係者など約80人が出席。役場駐車場を観閲式を行った後、消防団ラッパ隊を先頭に、消防車両10台を含む消防隊が中央通りを行進しました。消防隊の勇姿に、沿道からは拍手が贈られていました。また、長年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰も行われました。

川湯消防の出初式は1月6日、川湯消防庁舎前などで行われました。式には、消防職員や来賓、関係者など45人が出席し、恒例のはしご乗りの披露などが行われました。川湯市街地7カ所で行われたはしご乗りでは、7歳の竹はしの上でそのいの法被を着た職員が華麗な技を披露し、見物していた皆さんから拍手喝さいがわきました。また、長年、消防活動に尽力してきた消防団員の表彰が行われ、今年1年の防火・防災の意識を新たにしました。

町の話



町の話



記念撮影に臨む新成人の皆さん



祝賀会ではさまざまなアトラクションが



交通安全宣言を行う藤原さん

大人としての新たな一歩

第67回弟子屈町成人式

第67回弟子屈町成人式が1月11日、摩周観光文化センターで行われました。

今年、町内で成人を迎えたのは76人。式典にはそのうちの60人が出席しました。華やかな晴れ着や真新しいスーツに身を包んで出席した新成人は、友人との再会や大人としての出発を喜び合っていました。

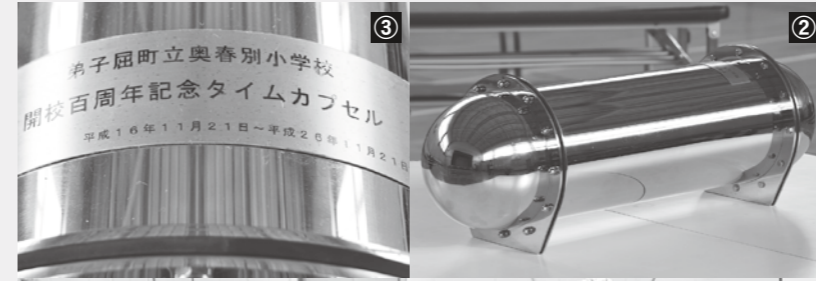
式典では、新成人を代表して星川洸太さんと加藤瀬奈さんが「一社会人として、向上心をもって成長していきたい」と誓いのことばを読み上げたほか、藤原暢紀さんが小林順也弟子屈警察署長や新成人一同に向かい交通安全宣言を行いました。

式典に続いて、ユースフルネットワークてしがが(山内功丞会長)が中心となって祝賀会を開催。豪華な景品を目指したゲームなどが行われ、新成人の皆さんが楽しめました。



友人と共に節目を祝う

①懐かしい友人とともに思い出の品に笑顔 ②校内で10年間保管されていたタイムカプセル ④いよいよ開封 ⑤数々の懐かしい品に、かつての自分を思い出 ⑥10年前の自分が10年後の自分に宛てた手紙をかつての教頭先生が読み上げ ⑦カプセルに収められていた品を前に記念撮影



10年前の自分からの手紙

奥春別小学校タイムカプセル開封式



奥春別小学校(中村涼子校長)で1月8日、タイムカプセル開封式が行われました。

タイムカプセルは2004年11月、開校100周年を記念して作られたもの。10年後に開封予定となっていて、この度開封されたものです。

開封式には、当時の在校生のうち11人が出席。教頭として在職していた本間尚行先生など、当時の教職員3人も駆けつけました。初めに、当時の藤原節男校長からのメッセージを中村校長が披露。「奥春別小学校を誇りに、社会の役に立つ人になってほしい」との言葉に、出席者は感慨深く聴き入っていました。

その後、タイムカプセルを開封。10年前、授業で取り組んだ絵画や作文、それぞれが大切にしていたものなどが次々と現れ、みんな歓声を上げていました。また「10年後の自分へ」と題して書かれた手紙を本間先生が一つ一つ読み上げ、出席者からは笑顔がこぼれました。